

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川 西 市 社 会 教 育 委 員 の 会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成17年10月26日(水) 10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 第503会議室		
出 席 者	委 員	森議長・小柳副議長・正親委員・敷地委員・後藤委員・佐道委員・武村委員・生田委員・嶋崎委員・江本委員 計10名	
	そ の 他		
	事 務 局	小山部長・水越室長・雪岡中央公民館長・横田主幹・山川課長・白石主査 計6名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 報告 1) 阪神北社会教育委員協議会 第3回理事会について (10/20) 2) その他 2. 議題 1) 年間テーマは、昨年度と同様「よりよい地域システム作り」、サブタイトル「青少年の居場所を求めて」 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

生田委員...青少年の居場所については、川西市の現状と課題で色々討議されているところではありますが、やはり言葉で言い表せない部分がある。心の部分を含めての広い視野で、外見にとらわれず心の部分を忘れてはならない。今までの討議で改めて確認しました。

青少年の居場所については、地域の持っている力、コミュニティについてもNPOにしてもいかに役割を高めていくかと言うことに尽きると考える。

森議長.....国や自治体には青少年問題について様々な施策があるが十分に活用されているのかが問題である。

生田委員...青少年問題の色々な施策は活用されていると思うが、横との連携や心の問題、更にこれらをコントロールする所が見えてこない。

嶋崎委員...非常に気に掛かっていることがある。

1966年にアメリカで有名な学力に関する調査があり「子どもの学力は家庭の経済力に左右される」。川西にあてはめると学校格差がそれにあてはまる。日本の教育は、1970年からゆとり教育にシフトしてきた。それは青少年の心の問題とか心身の問題とかが生じてきてゆとりをもって教育するようになって来た。その結果ゆとりが緩みになってきている。ゆとり教育の間勉強させるとか、躰を厳しくすると、米国では子どもがだめになると言う理論が出て、子どもの自主性にまかせる、いずれ子どもが自信で気がつくと言う風潮が蔓延して20年たって学力の低下が起こってきて危機感をもってきた。

土曜や日曜が休みは、子ども達に良いと言うことで始まっているが、教育の理論から始まっていない。土・日曜を有効に使える子どもはそれでも良いが、うまく使えない子どもは遊んでしまう。子どもの格差が見え、色々な子どもを見てると感じてしまう。

子ども達はクラブ活動、塾などがあり地域活動に参加する時間が無いと思う。基準からドロップアウトしていく子どもを救う所は学校以外にあるべきで、絶対になかったらいけないと思う。

\* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

居場所というのは、私は、仲間に認知されていることが必要だと思う、もう一つ付け加えるならば役割分担があるということであると思う。

生田委員...社会教育に携わっている地域の組織、団体、コミュニティとの関係と言うものを考えて行かなければと思う。

武村委員...仲間が大切で、そこが子ども達の居場所になると思います。

後藤委員...昔から伝わる伝統芸能やお祭りがあるが、新しく作って人が集まりコミュニケーションを図る場所とするのも良いのではないか。

しかし、家庭が一番であり、家庭で愛されることが必要なのではと考えます。

森委員.....居場所は器ではない、それぞれの意識の中で生まれてくるものでその中で特に大切なのは母親の愛情である。これは絶対に必要、不可欠でありずっと言い続けなければならないと考えます。

正親委員...現状の話などでは教育も、お金を沢山出せば良い教育が出来ますよ、幼稚園へ入るため塾へ行きなさい、中学へ入るため塾へ行きなさい、と言うことは経済力のある人が良い生活、そして地域も関係ありますね、良いエリートみたいな人がいる、しかしそこからはずれた子ども達がどうなるか、今までにもありましたがそういう子どもは無気力な子どもとなり、沢山出来てきた。それこそ、どうしたら良いのか。

生田委員...公民館の充実は、地域の人たちが50代、60代、70代になり定年を迎えるがこの人たちは情報を沢山持っている。公民館で活動している人たちは数千人から8千人ぐらいいると思う。そういう人たちの情報発信は、そういう人たちを活用する情報発信源は、公民館が持っていると思う。連携がうまくいったら、コミュニティ、地域の方、登録グループの人たちと一体となってやっていると行政の負担にならないし登録グループの人たちも喜びを感じる。

地域の人たちの力をいかに引き出していくかと言う役をどこがしなければならない。

正親委員...学校の校庭を芝生化するという話がありますが、確かに芝生を敷き詰めると怪我はしないと思うが、ますます子ども達がひ弱になって行くのではないかと思う。

後藤委員...テレビゲームを良くする子どもたちは、ボール遊びをしても受けるとか、よけるとかが出来ない。経験が無いので反射的にすることが出来ない。

--

\* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。